

管理番号:

注意2：本紙には盤面データベースのデフォルト設定を記入しております。記載されている○や番号を斜線などで取り消して、○で囲みなおしたり、新たに番号を記載してください。



OP SW 番号	用途 ⑦	スイッチ名称	連動先 ⑧ ※最大32点まで
OP1	遮断 / ノロック / ロック	エレベータ遮断	遮断スイッチとして使う場合、本項での「<u>連動先</u>」の設定は不要です。 その場合、「<u>地区別移報の遮断スイッチ番号</u>」の設定が必要となるので「6.移報出力回線設定」で遮断スイッチ（OPSW番号など）を設定してください。
OP2	遮断 / ノロック / ロック	機械警備遮断	
OP3	遮断 / ノロック / <u>ロック</u>	排煙機停止	
			F4

OP1	遮断 / ノロック / ロック	
OP2	遮断 / ノロック / ロック	
OP3	遮断 / ノロック / ロック	
OP4	遮断 / ノロック / ロック	

3. ステータス回線設定（連動設定含む）

F1～F10(移報出力)などの連動先端子名を記載して下さい。

例

No.	受信機 ステータス名称	連動先 ② ※最大32点まで	出力要因
1	火災代表	F1, F2, F3, F4	火災発生時に出力します。設備区分「火災」回線の発報時で連動用感知器の発報は含みません。
2	表示機音響	F3	地区窓表示機/部屋番号表示機の音響端子への移報用です。 表示機音響設定を有にした回線の入力時に出力します。（保守音響停止中は出力されません）

注意！！
F1～F4を火災代表以外で使用する場合は、
初期設定を解除してから使用してください。

1	火災代表	F1, F2, F3, F4	火災発生時に出力します。設備区分「火災」回線の発報時で連動用感知器の発報は含みません。
2	表示機音響		地区窓表示機/部屋番号表示機の音響端子への移報用です。 表示機音響設定を有にした回線の入力時に出力します。（保守音響停止中は出力されません）
3	火災確認信号		感知器第2報発報、発信機作動時に出力します。
4	連動用感知器代表		3種回線の感知器発報時に出力します。 設備区分「防排煙」「防排煙復帰付起動」回線の入力により連動感知器灯が点灯した場合に出力します。
5	防排煙応答代表		防排煙応答入力がある場合に出力します。
6	諸警報代表		諸警報設定の入力がある場合に出力します。
7	警報音代表		受信機の警報音が鳴動する要因発生時に出力します。（音響および地区音響停止中でも出力します。蓄積、 電話呼出音、音響無し設定のもの、保守地区音響停止中音響は含みません）
8	異常代表		異常灯の点滅時に出力します。交流電源断(AC100Vが断した場合)は含みません。 平常時はa接側が閉じています。
9	スイッチ注意		スイッチ操作時に出力します。個別遮断中、一括遮断中に出力します。 (遮断設定のオプションSWも含む)(スイッチ注意灯の点滅時)
10	遮断中代表		個別遮断中、一括遮断中に出力します。（遮断設定のオプションSWも含む）
11	試験中代表		試験スイッチ操作中に出力します。
12	主電源断（停電）		AC100Vが断した場合(停電時)に出力されます。平常時はa接点が閉じています。
13	非常放送中		受信機の非常放送灯点灯中(EB士がON中)に出力します。
14	発信機代表		発信機応答灯制御時に出力します。
15	復旧出力		復旧スイッチ操作時や蓄積復旧時などの復旧処理中に1秒間出力します。
16	地区音響停止中		地区音響停止中に出力します。（非常放送入力中の地区音響自動停止は含まれません）
17	地区音響一斉鳴動		地区音響一斉鳴動時（火災第2報発報、発信機作動、一斉鳴動スイッチ押下、拡大警報タイムアップ時）に 出力します。（地区音響一時停止中、保守地区音響停止中も出力します）
18	地区音響鳴動中		地区音響鳴動中に出力します。（地区音響一時停止中、保守地区音響停止中は停止します）

4. 入力回線設定（LX）、消火栓入力設定（HL/HV）（連動設定含む）

任意記載

F1～10(移報出力)、D6～10(防排煙出力)などの連動先端子名を記載して下さい。

- ・ 階情報：任意記載
- ・ 保持/非保持：保持回線に○
- ・ 音響：鳴動しない回線に×
- ・ 音声：鳴動しない回線に×（音声のみ有りは不可）
- ・ 地区窓表示機音響：出力する回線に○
- ・ 消火栓始動：出力する回線に○（HL/HVは対象外）

例

回線 番号	設備区分 ②	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	連動先 ② ※最大32点まで	階 情報	保持/ 非保持 ②	音響 ②	音声 ②	地区窓 表示機 音響 ②	消火栓 始動 ②
LX1	諸警報	消 火 ポ ン プ	故 障		F10					○	
LX2	諸警報	業 務 ガ ス 遮 断 弁	閉 鎖					×	×	×	
LX3	諸警報	消 火 栓 バ ル ブ	開 放		F10					○	○

L X 回線は諸警報に固定

LX1	諸警報										
LX2	諸警報										
LX3	諸警報										
HL/ HV	消火栓入力										

5. 入力回線設定（L/DA）（連動設定含む）

■設定内容詳細

【設備区分とは】
回線毎に設備区分「火災」「諸警報」「防排煙」の設定を行い、各設備区分に応じた動作を行います。
火災回線は「火災」「諸警報」、防排煙回線は「火災」「諸警報」「防排煙」の設定が可能です。
なお、諸表示回線（LX）は「諸警報」、消火栓入力（HL/HV）は「消火栓入力」に固定されます。

【自動連動階とは】
地区音響、非常放送の自動連動設定を行う場合に設定します。
設定対象は火災回線のみです。
自動連動設定では、火災回線に設定された自動連動階情報をもとに、地区音響（出火階・直上階）、非常放送（階ごとに1出力）の連動設定を自動で行います。

■記入方法

【設備区分】
「火災」、「諸警報」、「防排煙」からいずれかを記入

【種別名称、状態文字、オプションメッセージ】
任意記入
種別名称、状態文字、オプションメッセージは、DBTOOLでのみ入力が可能です。

【連動先】
・F1～F10(移報出力)、D6～D10(防排煙出力)などの連動先端子名を記入
・防排煙回線で、D A入力（端末応答入力）で連動する場合は連動先番号に○をつけてください。

【自動連動階】※設備区分が「火災」の回線のみ
自動連動設定を行う場合に記入
・地下階の場合：B1F～B5F
・地上階の場合：01F～20F
・その他：RF（屋上）、ST（階段）、EV（エレベータ）、ES（エスカレータ）

【階情報】
任意入力の階情報（メモ）を記入

【空き回線】
空き回線に○を記入

【蓄積解除】
蓄積解除回線に○を記入

【蓄積音響無】
蓄積音響無無回線に○を記入

【諸警報保持/非保持】※設備区分が「諸警報」の回線のみ
諸警報保持回線に○を記入

【音響・音声】※設備区分が「諸警報/防排煙」のみ
・鳴動しない回線に×を記入
・音声のみ有りは不可

【地区窓表示機音響】
地区窓表示機音響出力する回線に○を記入
注）音響設定を「×」にしている回線は出力できません。

【消火栓始動】
・火災回線で設備区分が「諸警報」の場合：Lのみ○
・防排煙回線で設備区分が「諸警報」の場合：L、D Aに○
・防排煙回線で設備区分が「防排煙」の場合：D Aのみ○

【順次起動】※設備区分が「防排煙」のみ
順次起動対象回線に○を記入
注）「1.システム設定」で防排煙順次起動設定を行ってください。

注意！！
盤面DB設定でF1～F4を連動先に設定する場合、デフォルト設定でF1～F4が下記①、②の状態になっているため設定を解除してから連動設定を行って下さい。
①ステータス「火災代表」に設定されている
②OP1～OP4に1対1で遮断スイッチに設定されている

また、盤面DB設定では、防排煙回線のL入力に対してD出力が1対1で組まれています。受信機の回線数ごとの火災回線、防排煙回線の内訳はページ上部の表を参照ください。
なお、DBTOOLで設定を行った場合はいずれも設定されて無い状態となります。

例

火災回線

防排煙回線

火災回線

防排煙回線

回線番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	連動先 ⑧ ※最大32点まで	自動連動階 ②	階情報	空き回線 ⑥	蓄積解除 ⑫	蓄積音響無 ⑬	諸警報保持/非保持 ⑭	音響 ③		音声 ④		地区窓表示機音響 ⑨		消火栓始動 ⑩		順次起動 ⑪
												L	DA	L	DA	L	DA	L	DA	
1	火災			地下1階	F6		B1F										○			
2	火災			1階	F7		1F										○			
3	火災			2階 客室	F8		2F										○			
4	火災							○												
5	火災							○												
6	防排煙	防火シャッター	閉鎖	1階 管理室前	D6 F9		1F										○			
7	防排煙	防火ダンパ	閉鎖	1階 管理室前	D7 F9		1F										○			
8	防排煙	消火ポンプ	運転	地下1階 ポンプ室	D8 F9		B1F	○									○			
9	防排煙	易操作性消火栓	作動	1階 共用部	D9 F9		1F	○									○		○	
10	防排煙	ガス消火	自動		D10			○					×	×	×	×				

表示機のlnへ移報

表示機のlnへ移報

表示機のlnへ移報

DA入力（端末応答入力）で連動する場合は連動先番号に○を付けて下さい。

内訳はページ上部の表を参照ください。
なお、DBTOOLで設定を行った場合はいずれも設定されて無い状態となります。

回線番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	連動先 ※最大32点まで	自動連動階	階情報	空き回線	蓄積解除	蓄積音響無	諸警報保持	音響		音声		地区窓表示機音響		消火栓始動		順次起動
												L	DA	L	DA	L	DA	L	DA	
1	火災																			
2	火災																			
3	火災																			
4	火災																			
5	火災																			
6	防排煙																			
7	防排煙																			
8	防排煙																			
9	防排煙																			
10	防排煙																			

6. 移報出力回線設定 (F) ⑧



・「遮断」スイッチを設定する場合、OP 1～4 または「火」（火災代表）、「非」（非常放送）、「消」（消火栓）、「防」（防排煙代表）を記入する。
・地区音響の場合は、ジャンパー設定により「館内の音を止める」スイッチ（地区音響停止）が有効になるので記入不要。

L1～L5（火災入力）、DA6～DA10（防排煙応答入力）、LX1～LX3（諸表示入力）、HL/HV（消火栓入力）
OP1～OP4（オプションスイッチ入力）、ステータス連動要因から連動要因名を記載して下さい。

基板	端子名称	コモン	任意記載		スイッチ番号、名称を記入		任意記載	任意記載	連動要因
			移報先	遮断スイッチ	遮断スイッチ 番号⑩	遮断スイッチ	オプションメッセージ	階 情報	
P S U	F1	F1C	エレベータ	OP 1	エレベータ遮断	火災代表			火災代表
	F2	F2C	機械警備	OP 2	機械警備遮断	火災代表			火災代表
	F3	F3C	表示機音響	OP 3					火災代表
	F4	F4C	空調機	OP 4 3	空調設備	火災代表			火災代表
	F5	F5C	中央監視	OP 4	中央監視遮断	異常代表			異常代表
	F6	FNC 1	表示機	OP		地下 1 階		B 1 F	L1
	F7		表示機	OP		1 階 客室		1 F	L2
	F8		表示機			2 階 客室		2 F	L3
	F9		表示機			防排煙代表			L6, L7, L8, L9
	F10		表示機			消火代表			LX3

上記は表示機の例です。
地区音響で区分鳴動する場合、F接点の地区別移報を「地区音響」とし、別途ジャンパー設定（JPA1、JPF1）が必要です。
F 6～F 1 0 は地区音響（有電圧）として使用可能です（F 1～F 5）。

基板	端子名称	コモン	移報先	遮断スイッチ		オプションメッセージ	階 情報	連動要因
				遮断スイッチ 番号⑩	遮断スイッチ			
P S U	F1	F1C		OP 1				火災代表
	F2	F2C		OP 2				火災代表
	F3	F3C		OP 3				火災代表
	F4	F4C		OP 4				火災代表
	F5	F5C		OP				
	F6	FNC 1		OP				
	F7			OP				
	F8			OP				
	F9			OP				
	F10			OP				

7. AND連動設定

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。



No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
1	DA6	防排煙	特選排煙口	開放		1F	D10(排煙機)
	DA7	防排煙	特選給気口	開放		1F	
2	L1	火災			火災(煙)		F1(ハロン制御盤)
	L2	火災			火災(熱)		
3	L3	火災			1棟火災(ステータス発信機)		F2(消火ポンプ)
	L4	火災			2棟火災(ステータス発信機)		

【連動要因について】

以下の連動要因から設定可能です。
・火災 (L)
・諸警報 (LX,L,DA)
・防排煙 (L/DA)
・消火栓入力 (HL/HV)
・ステータス連動要因

【連動先について】

以下の連動先から設定可能です。
・移報 (F)
・防排煙 (D)

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							